

Sibelius 6

ライブテンポ

ライブテンポ機能を使うと、スコアの再生を指揮して、演奏に微妙なニュアンスを加えることができます。コンピューターのキーボード、MIDIキーボードまたはフットペダルを叩くだけで、**Sibelius**はそのビートに追従します。行った指揮の内容は詳細に記録されるため、後に再度再生したり、演奏のオーディオやMIDIファイルを作成することもできます。ユーザーが指揮する各ビートは、スコア上部でグラフ表示され、テンポのバリエーションを確認できます。そして、本物の指揮者がやるように、好きな箇所でテンポを変更すると、**Sibelius 6**がそれに追従します。リタルダンド用に1拍をさらに細かく分割、最初のパッセージの小節で1回たたく、または一切たたくのをやめると、**Sibelius 6**は進行を続けます。フェルマータや休符の部分では、**Sibelius 6**は、オーケストラと同様に次のビートが叩かれるまで待ちます。繰り返しのセクションには、毎回異なるテンポを記録することもできます。パフォーマンスの編集をしたい場合は、ライブテンポのセクションを削除してレコーディングし直すか、ライブテンポをオフにした状態で再生します。